

学位論文に係る評価基準

研究科・専攻等		学位論文に係る評価基準
人文社会科学 研究科	博士前期課程	修士論文の成績評価に関しては、以下のような項目を一般的な審査基準としつつ、各学問分野の専門性やそれぞれの論文の特性をも十分考慮した上で、総合的に判断し、可否を決定します。 1. 問題意識が明確であり、研究テーマの設定が適切か。 2. 研究テーマにふさわしい研究方法や論証方法が採られているか。 3. 研究結果の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切か。 4. 論理展開が一貫しており、説得力があるか。 5. 独創性や将来性が認められるか。 6. 研究者倫理を遵守したものになっているか。
	博士後期課程	論文内容は、以下の要件を必要とします。 1. 将来とも自立して研究を遂行できる能力を示していること。 2. 高度の専門的業務に耐え得る能力と広汎な学識のあることを示していること。 3. 論旨が独創的であり、かつ、その論証が堅実であること。 4. 使用した資料が独自のものであるか、または資料の分析が斬新であること。 5. 該当する専門領域の国内外の学会等で、その評価に耐えられるものであること、または極めて有用な内容であること。 6. 研究者倫理を遵守したものであること。
教育学研究科	修士課程	修士論文の審査では、学位請求論文が以下の内容を満たしていることを評価基準とします。 1. 各学問分野の研究の進め方に則った形で、研究目的と仮説の設定、先行研究の概観と整理、研究手続、分析方法、考察が適切に行われており、研究全体の論理の一貫性が保たれていること。 2. 修士課程における専門的知識と技術の習得が論文の内容に結実されていること。 3. 学位論文が主題とする専門分野の学術的発展または実践的発展に貢献する内容になっていること。 4. 自らの研究の独自性、学術的または実践的価値、応用可能性について、論理的に説明し、社会に発信していけること。
医歯学総合 研究科	修士課程	修士論文は、単著のテーシス形式を原則とし、公開審査において当該論文の学術的意義、新規性、論理性、倫理性ならびに申請者が修士号を授与するに足る学識、識見を有するかどうかを審査します。
	博士課程	博士論文は、国際的学術誌に掲載されたもの（掲載予定を含む）または定期的に刊行される学術誌に査読を経て掲載された論文を基に英文で作成されたテーシス形式のものを審査対象とし、公開審査において当該論文の学術的意義、新規性、論理性、倫理性ならびに申請者が博士号を授与するに足る学識、識見を有するかどうかを審査します。
保健学研究科	博士前期課程	修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査では、当該論文又は特定の課題についての研究の成果の学術的意義、新規性、論理性、倫理性ならびに申請者が修士号を授与するに足る学識、識見を有するかどうかを審査します。
	博士後期課程	博士論文の審査では、査読制度のある優れた学術専門雑誌に筆頭著者として掲載された（掲載予定を含む）原著論文またはそれを基に作成したテーシス形式のものを審査対象とし、当該論文の学術的意義、新規性、論理性、倫理性ならびに申請者が博士号を授与するに足る学識、識見を有するかどうかを審査します。
理工学研究科	博士前期課程	修士論文の審査は、学位申請者が提出した論文の学術的意義、新規性、創造性、応用的価値の有無、さらには、学位申請者の研究成果の論理的説明力、研究推進能力、研究分野に関連する幅広い専門的知識、倫理性などを有しているかを、ディプロマポリシーを勘案して審査します。
	博士後期課程	博士論文の審査は、学位申請者が提出した論文の学術的意義、新規性、創造性、応用的価値の有無、さらには、学位申請者の研究企画および研究推進能力、研究成果の論理的説明力、研究分野に関連する高度で幅広い専門的知識、高い倫理性などを有しているかを、ディプロマポリシーを勘案して審査します。
農学研究科	修士課程	鹿児島大学大学院農学研究科における学位論文の審査は、主査1名及び副査2名以上の審査委員の合議で行い、その評価は、研究科のディプロマ・ポリシーに基づき、以下の基準により総合的にを行います。なお、この基準に定めるもののほか、専攻分野において必要なものは当該専攻が定めます。 1. 学術的あるいは社会的な観点において、新規な内容が含まれていること。 2. 先行研究あるいは関連研究をふまえ、適切に課題が設定されていること。 3. 問題設定から結論にいたる論述が明確で、論理的に展開されていること。 4. 実験や調査あるいは資料収集などの研究方法が適切であること。 5. 研究結果に関する考察が適切になされていること。
水産学研究科	修士課程	修士論文は、適切な研究課題を設定し、研究計画を策定し、課題に適した機器等を利用し、資料を適切に整理・分析し、論理的な検討から結論を導き、学術雑誌に投稿可能な論文をとりまとめているものであることを基準として、審査します。

連合農学研究科	博士後期課程	博士論文の審査は、ディプロマ・ポリシーに従い、学位申請者が提出した博士論文の構成、内容の新規性や学術的価値等に対する項目について評価を行い、併せて、申請者の専門知識、企画・実行力、プレゼンテーション力と発展性等を総合して判断します。
---------	--------	--